

## 単元名 リズムと なかよし

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) リズムパターンやその反復について、それらが生み出すよさや面白さに曲想と関わらせて気付くとともに、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けることができる。
- (2) リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのようにリズムをつくるかについて思いをもつことができる。
- (3) 4分音符や4分休符、8分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

01070101\_001

【教材名】 ぶん ぶん ぶん(歌唱) しろくまの ジェンカ(歌唱) ジェンカ(鑑賞) たんとうんで  
リズムをつくろう(音楽づくり) わくわくキッチン(歌唱) (P.16～P.23)

【準備等】 範唱CD、鑑賞CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 リズムを感じながら、歌ったり聴いたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 拍にのって「ぶんぶんぶん」を歌う。</li> <li>★ 「たん」と「うん」の リズムで あそぼう</li> </ul> <p>○ 「たん」「うん」の手拍子や手合わせを取り入れながら拍にのって歌う。</p> <p>○ 範唱に合わせて「しろくまのジェンカ」を歌う。</p> <p>○ ジェンカのリズムパターンを手で打ちながら「しろくまのジェンカ」を歌う。</p> <p>○ ジェンカのリズムパターンを意識して、鑑賞曲「ジェンカ」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しろくまのジェンカ」と同じリズム。</li> <li>・ リズムが繰り返している。</li> </ul> <p>○ 鑑賞曲「ジェンカ」にあわせて、ジェンカのリズムパターンを打ったり、体の動きで表したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手で打つ。</li> <li>・ 前後に飛び跳ねるステップをする。</li> <li>・ 何人かでつながってステップをする。</li> </ul> <p>○ 「しろくまのジェンカ」を、ジェンカのリズムパターンを打ったり、ステップをしたりしながら歌う。</p> <p>4～5 「たん」と「うん」でリズムをつくり、発表会をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師のまねをして「たん」と「うん」のリズム打ちをする。</li> <li>★ 「たん」と「うん」で リズムを つくろう</li> <li>・ 「たん」と「うん」だけでいろいろなリズムができる</li> </ul> <p>○ 友達の打ったリズムでまねっこリズム遊びをする。</p> <p>○ 「たん」と「うん」を組み合わせたリズムをつくる。</p> <p>○ つくったリズムを4人ぐらいのグループでつなげ、中間発表をする。</p> <p>○ 中間発表をふりかえり、リズムを整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書の挿絵の「蜂」＝「たん」，「花」＝「うん」を使い、視覚的に捉えさせる。</li> <li>・ 「たん たん たん うん」のリズムと，「たん たん たん たん」のリズムをしっかりと感じ取らせる。</li> </ul> <p>【共通事項】 リズム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲全体はA－B－Aの三部形式だが，Bの部分は最初に手拍子をしてから手合わせをするので分かりやすい。</li> <li>・ Bの部分や「うん」の休符は，速度が速くならないように，拍を意識させる。</li> </ul> <p>【共通事項】 拍</p> <p>【評】 拍に合わせて歌ったり，リズム打ちをしたりする活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ タッカのリズムやスタカートを意識させ，リズムが重くならないようにする。</li> <li>・ 教師が打つ拍に合わせて児童にジェンカのリズムパターンを繰り返し打たせる。</li> <li>・ 拍にのってジェンカのリズムを繰り返し打たせることで，リズムにのって表現する楽しさを感じ取らせる。</li> </ul> <p>【共通事項】 反復</p> <p>【評】 ジェンカのリズムを手で打ったり，聴き取ったりする活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拍にのってリズムパターンを繰り返すことで反復の楽しさを感じ取らせる。</li> <li>・ ステップで表すときは，最後の4分休符が速くならないように拍を意識させる。</li> <li>・ 友達と一緒に活動する楽しさを感じられるようにする。</li> </ul> <p>【評】 リズム打ちやステップを取り入れながら歌う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拍にのって一定の速度で打たせる。</li> <li>・ 聴き取ったリズムを模倣（まねっこ，呼びかけとこたえ）させる。</li> <li>・ リズムの模倣の楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・ 全体場で個のリズムを取り上げてまねっこすることで，自分のリズムが友達に伝わる満足感につなげる。</li> <li>・ 自分の打つリズムを聴きながら，何度も試行錯誤するようにする。</li> <li>・ まねっこリズムの経験を基にして作らせる。</li> <li>・ 「たん」と「うん」の記号の約束を共通にし視覚的にリズムが分かるようにする。</li> </ul> <p>【評】 リズムづくりの活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の発表を聴いて，よいものがあたら生</li> </ul>

- ・リズムを変更する。
- ・つなぎ方を変える。
- ・体のいろいろなところで打つ。

○グループごとに発表する。

- 6 リズムを意識しながら「わくわくキッチン」を歌う。
- 料理の様子を思い浮かべながら「わくわくキッチン」を歌う。
  - ★「たん」と「たた」のリズムで あそぼう
  - 「たん」と「たた」のリズムを意識しながら、拍にのって歌う。
    - ・繰り返す部分をリズム打ちする。
    - ・繰り返す部分を少しずつ速くして歌う。

かしてもよいことを伝える。

- ・リズムをリレーしたときに、面白くなるようなアイデアがあれば生かすように声掛けする。

【共通事項】呼びかけとこたえ

【評】拍に合わせてリズム打ちをする活動を通して「技能」を評価する。

- ・歌詞から連想される料理の様子などを動作で表してもよい。

- ・「たた」の8分音符のリズムは速度が速くなると勘違いしやすいので、拍の流れの中で1拍を分割して「たた」になっていることを、活動を通して理解させる。

- ・歌やリズムが雑にならないように、楽しみながらもしっかり拍にのって歌わせる。

【共通事項】速度

【評】リズムや速度を感じながら歌う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】